

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 3月 18日

事業所名 放課後等デイサービス きらり

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
			はい	いいえ		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	利用人数や利用者の状態や状況に合わせて配置を見なおしたり環境作りをおこない支援提供できるように努めています。	遊びや学習スペースを見なおし安全に過ごすことができるように努めます。
	2 職員の配置数は適切である	1	4	1	利用人数や利用者の状態や状況に合わせて配置を見なおしたり環境作りをおこない支援提供できるように努めています。	法令に遵守し配置はしているが放課後等に送迎などで人員が不足となる時間帯も出ているため人員補充を行い余裕をもって支援提供できるように努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	1	段差が歩行に支障をきたしたり危険が伴う箇所にはシートやクッション材を使用し改善に努めています。	定期的に事業所内の設備等の点検を行いバリアフリー化に努めていきます。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2	0	日々のミーティングで上がっている問題点やヒヤリハット報告書を用い改善点を明確化し改善できるように努めています。	継続し、ミーティングや会議を行いながら業務改善に努めていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	必要に応じて保護者様へのアンケート調査をおこなったり、事業所評価を実施できています。	継続し、必要に応じたアンケート調査や事業所評価を基に保護者様のご意向を把握し改善につなげていけるように努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	0	年一回は評価しホームページ掲載をしています。	継続し、結果をホームページ掲載し公表していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	0	4		現時点では、外部の第三者評価を実施していませんが、今後前向きに検討しています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	0	研修開催の案内を回覧し参加を促しています。	現在運動療育研修を年間3～4回実施しています。今後も研修案内をスタッフへ周知し参加向上に努め資質の向上を図ります。
適切 な支 援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		アセスメントシートを使用しているが、今後アセスメントシートの見直しなどが必要と感じるため改善に努め活用していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		4	2	事業所内で、標準化されたアセスメントツールを活用できる専門職種を配置していない為、現時点では契約時や発達検査を受検された時のデータをご持参いただき状況の把握に努めています。	引き続き、専門機関データを基に状況の把握に努めていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0	毎月の会議等で行っています。	引き続き、会議等で協議し継続できる様に努めていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	毎月の会議等で行っています。	引き続き、会議等で協議し継続できる様に努めていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0	各担当スタッフが計画書に沿って課題に沿った支援提供ができるように努めています。	引き続き、年度ごとに担当を決めて課題に沿った支援提供ができるように努めていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	児発管と各担当が連携を取りながら会議等で協議し計画作成ができるように努めています。	引き続き、利用児童の状況把握に努めて各担当と児発管が連携をとり計画策ができるように努めていきます。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	日々のリーダーを決めて支援提供前にミーティングを実施しています。	引き続き、支援提供前のミーティングを実施し役割分担をより良い支援ができるように努めていきます。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5	0	送迎終了後に必要な事柄を業務日誌に記録し次の日のミーティングで共有できるように努めています。	引き続き、必要な事柄をその場のスタッフと共有したり次の日のミーティング等で共有できるように業務日誌等で記録し申し送りができるように努めています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	会議等を用いて記録に関する向上を図る様にしています。	支援提供時の検証や改善につながる様に、今後も記録の取り方など向上が図れるように努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	管理者、児発管がご家族様と連絡調整を見極めて進めるように努めています。	引き続き、計画書に沿ってのモニタリングを行い計画作成を行えるように努めています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	3	0	ガイドラインの熟読ができるようにスタッフへの周知を行っています。	評価結果を基に、支援提供の実態とガイドラインの総則に合った内容であるのかを確認できる機会を作り支援提供のプログラム作成に努めています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0	児発管や管理者がスタッフ間と情報を共有し参加できるように努めています。	現状は、児発管、管理者の参加をしているが今後はそこへ担当者の参加ができるようにしていきたいと考えています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	0	学校により対応が異なるが担任の先生方と送迎を通し情報の共有に努めて利用されているお子様が困らないような環境作りに努めています。	ご契約後に在籍学校への連絡等を行い情報の共有ができるように努めています。学校により対応も様々で下校時刻の開示をされない学校もあるため、現状ご家族様の協力を受けて利用されているお子様が困らないように努めています。今後も、放課後等デイサービスのあり方などを理解していただけるように様々な形で働きかけていきたいと考えています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						指定事業所の申請をしていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4	0	御家族様のご意向も聞き情報の共有に努めています。	利用者全般とはいかないが、できる限り情報収集を行い相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5	0	相談事業所への情報提供は行っています。	必要に応じて実施している状況であり今後共通のシートなどを活用し終了時にお渡しができるように努めています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	0	お子様の状況に合わせて他機関との連携をとり進めるように努めています。	他機関との連携は引き続き実施し、支援提供内容に反映していきできるかぎり統一した支援提供ができるように努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	4	コロナ禍でも事業所付近のお出かけをし機会作りに努めています。	コロナ禍の状況であり行動の制限に伴い機会が少なくなっていますが、様々な形で交流できる機会作りに努めています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	2	4		地域自立支援協議会への参加は前向きに検討していますが、日程等の調整が難しく昨年の参加はできていません。今後もできる限り参加できるように努めています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎時、連絡帳、SNS等様々な手段でご家族様への情報提供を行い共通理解がもてるように努めています。	今後も、引き続き共通理解をもって進めることができるように様々な手段を活用し情報の共有に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	1	ご家庭での困り感などを聞き支援時の様子をご家庭の状況を合わせて分かりやすく伝達をしたり必要な支援グッズの提供をしています。	日々の申し送りの中に、ご家庭で活用できる内容等を分かりやすく伝えていき活用していく中でアドバイスをしながら対応力の向上が図れるように努めています。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0	契約時に、重要事項の説明や分かりやすい資料をもって丁寧な説明ができるように心がけています。	必要に応じて分かりやすい資料等の作成準備を行いながら、引き続き丁寧な説明ができるように努めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0	ご家庭の状況に合わせ、様々な手段をもって相談できる環境作りを努めています。また、相談があった時丁寧な聞き取りを心がけ適切な助言ができるように努めています。	今後も、引き続き相談等しやすい環境作りを行い相談対応を行い適切や支援ができるように努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	4	コロナ禍の状況でもあり開催を見送っていましたが、必要性を感じて開催に向けて前向きに検討しています。	コロナ禍の状況で難しいことも多く見送っていましたが、ご家族様との対話の中で必要性を感じる場面も多く今後の開催について感染対策をとりながら開催していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	0	苦情等があった場合に迅速かつ適切な対応ができるようにスタッフ間で流れを確認しその状況に合わせて行動できるように努めています。	要望やご意見があった時に体制や環境を整備し苦情等に繋がらないように努めています。また、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応ができるように努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	0	毎月の行事予定表の配布や定期的な会報をもって情報発信ができるように努めています。	今後も、引き続き行事予定表や定期的な会報等で情報の発信に努めています。また、個人情報の取り扱いには十分に留意しホームページ等も活用し情報の発信に努めています。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	ミーティングや会議等で呼びかけを行いながら注意喚起できるような機会を設けています。	ご契約時にいただいた同意書をもって取り扱いには十分注意するように努めています。今後も、スタッフ間で注意喚起できる機会をもったり取り扱いに関する確認を行い適切な取り扱いができるように努めています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	それぞれに合わせた手段や手法を用いて意思の疎通が取れるように努めています。	ご利用いただいていますご利用者、ご家族様への配慮を行い今後も意思の疎通や情報の伝達ができるように努めています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	4	コロナ禍の状況であるが、付近の散歩、清掃活動への参加などを行っています。	コロナ禍の状況でもあり機会は少ないですが、地域とのつながりをもてるような機会作りを努めています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	職員間では会議や訓練でマニュアルの活用ができるように努めています。	御家族様へはご契約時にお伝えはしておりますが、今後会報や家族会などをもって周知の機会を作っていきます。また、職員への周知は入社時に伝達を行っていくように努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	定期的な訓練を行っています。	定期的な訓練の実施に努めています。また、内容に関しても利用者が分かりやすい内容の教材を準備し実施できるように努めています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	法人の全体研修や事業所ごとの研修参加をしています。	引き続き、研修の参加や事業所ごとの事例検討を行い虐待防止に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	パニック時や危険が伴う時など状況説明を行い必要に応じて計画書に記載をし個人記録にて状況を記載しています。	引き続き、可能性がある場合はご家族様と情報を共有し計画書に記載をし、実際に起こったことを申し送り記録に残していきます。できるかぎりこのような状況にならないような支援提供ができるように努めています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	ご契約時の聞き取りや医師からの指示等がある場合は、その起こりうる状況下の対応をマニュアル化し適切な対応ができるように努めています。	ご契約時の聞き取りや年度ごとの聞き取りなどで情報の収集に努めて状況に合わせた対応ができるように努めています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	ヒヤリハット報告書の共有を行い事故等に繋がらないようにしています。	ヒヤリハットを活用することで、危機管理意識がうまれたり事故を未然にふせぐことができるため、今後も事例を基に改善を図り事故防止に努めています。	